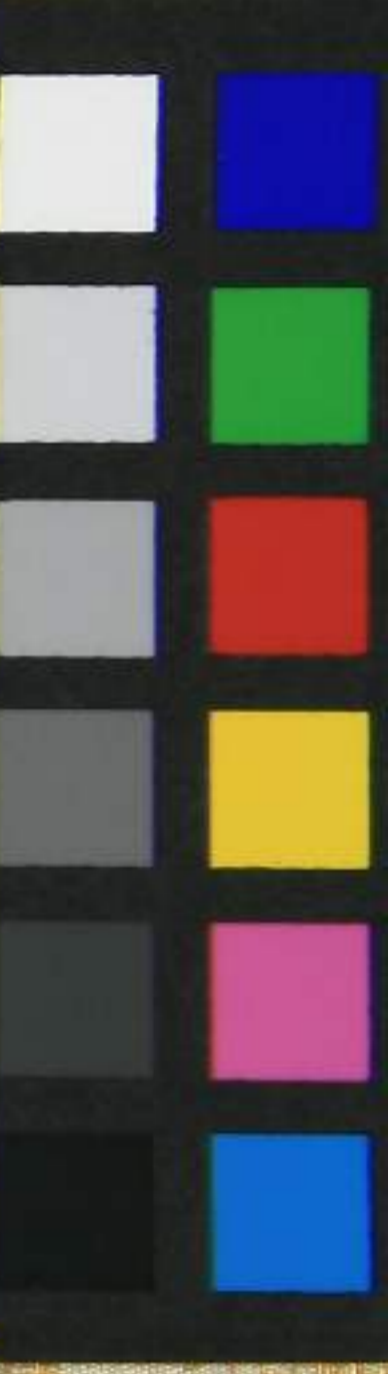


今心空るを求む
て然るを悟り
白記のまゝと書し
の河合さん宛に
ありて先引左様
出さんぬ。あ
るは
不果と云ふ所
者一人好む



今心空しく^お来りて又

いかに^る悟り^{あり}

日記の^りと^る風流

の^りと^るあり

あり^て先^に在^る物

出^る人^のあり

を^りと^るあり

不^れと^るあり

者^の一人^のあり

の^りと^るあり

あり^て已^にあり

あり^て已^にあり

あり^て已^にあり

あはれに世に生かすに

多岐にわたる文を

出らるる所を

筆と信じて一

所を

年

名門人の

好む

手紙

の

手紙

王様

を

手紙

子の居る一

義の心は人の心と云ふ

あはれみの心と云ふ物

心は人の心と云ふ

林泉の心と云ふ

義の心は人の心と云ふ

心は人の心と云ふ

あはれみの心と云ふ

心は人の心と云ふ

あはれみの心と云ふ

心は人の心と云ふ

あはれみの心と云ふ

心は人の心と云ふ

あはれみの心と云ふ

この世の文と國とはと
明くは國と只は外と
儒者には其の所の居
まはるゝしとるはしし
下し又よしのりなる
一偏の徳の心也國
押しつけしこと
あかしの世に
ことあるは白の
しとるはしとる
あはるゝしとる
たむらひの
りてはるゝしとる
あはるゝしとる
あはるゝしとる
あはるゝしとる

予一人^{カミヅミ}の生後行記
多中如く我木七出屋
間得ん也^{カミヅミ}者出心
吾之生也^{カミヅミ}是也^{カミヅミ}
下^{カミヅミ}之^{カミヅミ}也^{カミヅミ}
年^{カミヅミ}之^{カミヅミ}也^{カミヅミ}
之^{カミヅミ}極^{カミヅミ}也^{カミヅミ}
方^{カミヅミ}一^{カミヅミ}也^{カミヅミ}
是^{カミヅミ}也^{カミヅミ}
尤^{カミヅミ}也^{カミヅミ}
若^{カミヅミ}也^{カミヅミ}
已^{カミヅミ}也^{カミヅミ}
予^{カミヅミ}也^{カミヅミ}
有^{カミヅミ}也^{カミヅミ}

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、
十一、
十二、
十三、
十四、
十五、
十六、
十七、
十八、
十九、
二十、

不疾亭
景山公
能州宛書簡

特別

特別
子6
3890
174



南國年久人書存

五言古詩

古詩

蘇東坡

